



## 総務常任委員会議案審査報告書

1. 第 80 号議案 公益的法人等への町田市職員の派遣に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 81 号議案 町田市個人番号及び特定個人情報の利用等に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 82 号議案 町田市手数料条例の一部を改正する条例
1. 第 89 号議案 室内プール改修空気調和設備工事請負契約
1. 第 113 号議案 町田市ふるさと農具館の指定管理者の指定について
1. 第 114 号議案 町田市七国山ファーマーズセンターの指定管理者の指定について
1. 第 75 号議案 平成 30 年度（2018 年度）町田市一般会計補正予算（第 2 号）

本委員会は、9 月 6 日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 平成 29 年度（2017 年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9 月 6 日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

#### 1 一般会計

（歳出）

##### 総務費

- （1）職員のメンタル疾患の予防により努め、特にメンタル疾患の病休者の減少、復職後の再発の防止に努められたい。
- （2）より適正な契約事務が行えるよう、契約方法について検証し、改善されたい。
- （3）広報まちだについては、特に新聞非購読者やインターネット環境がない市民に対し、その配布方法を更に検討されたい。
- （4）「ふるさと納税」については、法人への周知も含め、更なる認知度向上を図られたい。

- (5) 未使用地及び低利用地の処分や活用方法を適時出来るよう準備しておくべきと思う。ならびに、市民の皆さまにも早い公表をされたい。
- (6) 庁用車事故の削減に向け、職員の意識向上を図る取り組みをさらに進められたい。
- (7) 地球温暖化防止の観点からも、庁舎二酸化炭素排出量の削減の為、多方面から取り組みを進められたい。
- (8) 公共施設再編計画については市民との合意形成を基本に進められたい。
- (9) 公共施設再編計画の検討にあたっては、採択された関連請願の趣旨と内容を反映させられたい。
- (10) 2017年度の差押は、2394件  
2016年度の差押は、2251件  
差押設定せざるを得ない状況で設定したならば、債権回収出来た段階で設定解除をしなくてはならない。設定解除漏れがないか、急ぎ調査されたい。
- (11) 滞納整理にあたっては、納税者の生活再建をふまえた対応をされたい。
- (12) 滞納整理にあたっては、「赤色」など色の付いた催告書の送付について検討されたい。

#### 農林費

- (13) 更なる都市農業振興のため、いわゆる生産緑地2022年問題に向け、生産緑地所有者に対し関係法規の周知を徹底されたい。
- (14) 山林バンク事業を積極的に進め、更なる山林等の活用面積を増やすよう努められたい。

#### 商工費

- (15) 町田新産業創造センターは、他に類を見ない充実施設であるが、創業企業が育った段階での本市に残る対策が取られていない。早急に行われたい。
- (16) バスターミナルの観光バスの利用台数に関して、目標数と現実の数字とで説明で異なった評価があるが、評価シートの記載を整理してわかりやすく記載されるように改善されたい。
- (17) 町田市が指定し、バスターミナルから発車する観光バスの利用者にわかりやすいようにするために、バスセンターや鉄道出入口付近にも観光バスの駐車場の場所の案内を表記されたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

### 1 一般会計

#### (歳出)

##### 総務費

- (18) 予算計上していない歳出に流用を用いるのは避けられたい。
- (19) ワーゲンバスの件に見られる急な変更のないよう、予算計画を立てることを努められたい。

商工費

- (20) 町田新産業創造センターの事業に関して、事業の規模と施設に見合った目立った成果（上場企業など）を示す事業所を誕生させることを明白な目標に掲げられたい。
- (21) 町田新産業創造センターの事業の成果に関して、市内で起業した事業所数の目標設定が例年増加する設定になっているが、現実には下降し続けている。評価を明確にする目的で、いずれかを現実に合わせられたい。
- (22) 町田ターミナルプラザ事業について、収支状況を鑑み、抜本的な対策を講じられたい。
- (23) プラザ町田事業について、収支状況や稼働率を鑑み、抜本的な対策を講じられたい。

平成30年（2018年）9月14日

総務常任委員長 いわせ 和 子

議長 若 林 章 喜 様

## 健康福祉常任委員会議案審査報告書

1. 第 96 号議案 町田市わさびだ療育園の指定管理者の指定について
1. 第 97 号議案 町田市大賀藕絲館の指定管理者の指定について
1. 第 98 号議案 ふれあい桜館の指定管理者の指定について
1. 第 99 号議案 本町田高齢者在宅サービスセンターの指定管理者の指定について
1. 第 100 号議案 小山田高齢者在宅サービスセンター外 1 箇所の指定管理者の指定について
1. 第 101 号議案 玉川学園高齢者在宅サービスセンター外 1 箇所の指定管理者の指定について
1. 第 102 号議案 デイサービス鶴川の指定管理者の指定について
1. 第 103 号議案 デイサービス忠生の指定管理者の指定について
1. 第 104 号議案 デイサービス三輪の指定管理者の指定について
1. 第 105 号議案 デイサービス榛名坂の指定管理者の指定について
1. 第 106 号議案 デイサービス高ヶ坂の指定管理者の指定について
1. 第 107 号議案 デイサービスあいはらの指定管理者の指定について
1. 第 108 号議案 わくわくプラザ町田の指定管理者の指定について
1. 第 109 号議案 休日・準夜急患こどもクリニックの指定管理者の指定について
1. 第 110 号議案 休日応急歯科・障がい者歯科診療所の指定管理者の指定について
1. 第 75 号議案 平成 30 年度（2018 年度）町田市一般会計補正予算（第 2 号）
1. 第 76 号議案 平成 30 年度（2018 年度）町田市国民健康保険事業会計補正予算（第 1 号）
1. 第 78 号議案 平成 30 年度（2018 年度）町田市介護保険事業会計補正予算（第 1 号）
1. 第 79 号議案 平成 30 年度（2018 年度）町田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第 1 号）

本委員会は、9月6日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

# 1. 認定第 1 号 平成29年度（2017年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月6日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

## 記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

### 1 一般会計

#### （歳入）

- (1) 高齢者あんしんキーホルダー売払いについては年齢制限なく、多くの市民の方々に所持して頂き、高齢者見守り意識の向上を図られたい。

#### （歳出）

##### 民生費

- (2) 福祉輸送サービス事業の総括については、実施時期を想定し、それまでのスケジュールを明記されたい。
- (3) 就労した障がい者数の目標をもっと高くされたい。
- (4) 障がい者支援センターの委託先事業者に対する適正な予算措置を講じ、円滑なセンター運営ができるように図られたい。
- (5) 特別養護老人ホームの待機期間のさらなる短縮に努め、また地域密着型サービスが遅滞なく整備できるよう工事期間を見極めた上で整備までの期間短縮に努められたい。
- (6) わくわくプラザ町田の講習室・会議室の利用率の向上を図られたい。
- (7) 老人クラブ運営費報告書について、簡素化を求める。
- (8) シルバー人材センター作業員については今夏の熱中症で入院、死亡原因になったケースもある。作業員の健康管理を求める。
- (9) 借上げ型シルバーピアの随時募集の仕組みを確立されたい。
- (10) 公営住宅に対する待機者は多く、シルバーピアに限らず空室状態の期間短縮に努められたい。
- (11) 経済上や身寄りがないなどの特別の事情がある高齢者については、養護老人ホームや特別養護老人ホームの積極的措置入所を勧められたい。
- (12) 町田市課別・事業別行政評価シートの同種施設比較分析表（ふれあい館）に関してはさらなる活用を図られたい。
- (13) 高齢者福祉センターの老朽化に伴う改修工事を急がれたい。またその際は、利用者ニーズをよく把握して、浴室やマッサージ機などの人気サービスの継続を図られたい。
- (14) 生活援護費が不正受給されているかの誤解を招くことのないよう指導、監視を求める。

## 衛生費

- (15) 健康福社会館で行われている休日・準夜急患こどもクリニックや休日応急歯科・障がい者歯科診療所等は一部土曜日夜間等に対応していない。市民が健康で安心して暮らすことができるまちづくりの推進を図るためメディカルセンター化等を検討されたい。
- (16) (仮称) 町田市自殺対策計画策定に際し、ゲートキーパー養成等の施策に加え、障がい者や高齢者などを含めた寄り添う社会づくりを一層推進、浸透させる理念や方針、また計画策定を検討されたい。
- (17) こんにちは赤ちゃん訪問は生後なるべく早い訪問（3カ月以内）ができるようにされたい。
- (18) 動物愛護活動促進のため補助費増加や連携強化に努力しボランティア、協力団体の活動が円滑になるよう図られたい。

## 2 特別会計

### 国民健康保険事業会計

- (19) 一般会計からの繰入金減少には医療機関医療従事者の協力が得られる努力を求める。
- (20) 国民健康保険事業の収支改善について、保険税収納率改善やジェネリック医薬品促進、医療費適正化等の施策を進める一方で、財政改革のために被保険者の健康促進策（健康寿命）をさらに推進されたい。

### 介護保険事業会計

- (21) 地域包括ケアシステム充実を図るため、勉強会や実地指導をより充実させ、ケアマネジメントの効率化とともに一層の質の向上に繋がるよう努められたい。
- (22) 介護予防・日常生活支援総合事業においては、サービス量の確保と担い手（受け皿）の拡大を図り、安心して地域で住み続けられる地域包括ケアシステムを構築されたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

## 1 一般会計

### (歳出)

#### 民生費

- (23) 生活保護不正受給者への対策についてはさらなる強化を図られたい。
- (24) 生活保護費返還金の未収金への抜本的対策を講じられたい。
- (25) 生活保護受給者等就労自立促進事業は前年度と比較し就労率の低下が見られる。就労支援のさらなる強化を図られたい。

## 2 特別会計

### 国民健康保険事業会計

- (26) 引き続き保険税収納率の向上、未収金・不納欠損額の減少に取り組まれない。また、悪質な国保制度利用に起因する未収金の解決を図られたい。

### 介護保険事業会計

- (27) 要介護度改善ケアの成果目標を設定し、市・事業者でもっと積極的に取り組まれない。

## 1. 認定第 2 号 平成 29 年度（2017 年度）町田市病院事業会計決算認定について

本委員会は、9月6日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

- (1) 財務については、医業収益が低下しないように努力し、経常損失、純損失の圧縮を図られたい。中期経営計画に基づき 2020 年度経常収支黒字に向けて取り組まれない。
- (2) 呼吸器内科の常勤医の確保など、医業収益減や病床稼働率の低下を招く医師不足の解消を図るために、抜本的対策を講じられたい。
- (3) 東京都地域医療支援ドクター制度の派遣医師の協力を仰ぎながら、安定的な小児科、新生児科の体制充実を図られたい。
- (4) 病床利用率が目標値に達するよう努力されたい。
- (5) 「地域医療支援病院」の承認を目指すところがあるが、その後承認された。大きな変化であることから市民への周知をさらに推進されたい。

平成 30 年（2018 年）9 月 14 日

健康福祉常任委員長 石川好忠

議長 若林章喜様

健康福祉常任委員会請願審査報告書

1. 請願第 12 号 熱中症緊急対策に関する請願

請願者 町田市本町田 2424-21 ト2-204  
亀山 茂雄 外1人

本委員会は、9月6日付託された上記請願審査の結果、「不採択すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

平成30年（2018年）9月14日

健康福祉常任委員長 石川 好 忠

議長 若林 章 喜 様

## 文教社会常任委員会議案審査報告書

1. 第 95 号議案 町田市民ホールの指定管理者の指定について
1. 第 111 号議案 町田市子ども創造キャンパスひなた村の指定管理者の指定について
1. 第 112 号議案 町田市自然休暇村の指定管理者の指定について
1. 第 75 号議案 平成30年度（2018年度）町田市一般会計補正予算（第2号）

本委員会は、9月6日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 平成29年度（2017年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月6日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

#### 1 一般会計

（歳入）

- （1）太陽光パネルを設置している小中学校では、災害時、避難者のためにも電気を活用されたい。

（歳出）

総務費

- （2）町内会・自治会の若年層へのアプローチがしやすいと考えられるHPの作成フォローに関してより研究を進めるなどし、加入促進に努められたい。
- （3）町内会・自治会の行事等充実のために、市としての運営協力を検討されたい。
- （4）中規模会館の利用促進や、子育て世帯の町内会・自治会への加入促進の観点から、町内会・自治会へ加入することで、安価で中規模会館が利用できることなどの利点を広く周知されたい。
- （5）男女平等推進センターにおける書籍や資料購入にあたっては、センターの活動の目的に沿ったものに精査されたい。
- （6）女性悩みごと相談は、女性の枠を超えた幅広い相談に対応できるよう、相談体制を拡

充されたい。

- (7) デートDV講義においては、生徒の年齢に即した内容で行われるよう、努められたい。
- (8) 振り込め詐欺等の特殊詐欺の被害が増加している。法務省等を名乗る「架空請求ハガキ」等、新たな手口に対して、迅速に市民に周知されたい。
- (9) 振り込め詐欺等の被害減少に向け、自動通話録音機の利用者を増やすよう、進められたい。
- (10) 市民センターの和室など利用率の低い部屋等は、子育て世帯へ開放するなどされたい。

#### 民生費

- (11) 待機児童解消（特に0、1、2歳児）に努められたい。
- (12) 保育士不足を解消するために、育児中の保育士が時短勤務を希望しても正規職員で採用されるよう、指導されたい。
- (13) ファミリーサポートセンター事業の援助会員の自宅に対し、家具の転倒防止など防災に必要な費用の補助など検討を進められたい。
- (14) 産後うつや孤立から起きる自殺や児童虐待などを防ぐためにも、0歳児と転入者家庭への家庭訪問は、最重要と考える。切れ目のない支援として関連部署との連携をさらに深められたい。
- (15) 身近な相談の場であるマイ保育園事業の登録者をさらに増やす努力を図られたい。
- (16) 病児・病後児保育施設の充実を進められたい。
- (17) 子育て総合相談の新規相談件数が増加し、1人当たりの相談員が抱える件数が増えている。適正な人員で効率的かつ効果的な運営に努め、必要に応じて児童相談所との連携も強化されたい。
- (18) 「まこちゃんダイヤル」は、普及啓発の強化及び相談時間の拡充を検討されたい。
- (19) 子どもセンター、子どもクラブにおいてのイベント等は、対象児童と利用時間をしっかりと把握した上で行われたい。
- (20) 子どもセンターばあんの乳児用スペースの確保（プレイマットなどの整備）を進め、また、ろふと等各居室の利用率を確認し、利用されていない時間が長い場合には利用率を高める施策を講じ、乳児の利用促進に努められたい。
- (21) 子どもクラブ建設においては、地域の要望などに耳を傾け、市所有の未利用地の活用などをし、早期に建設を進められたい。
- (22) 学童保育クラブと「まちとも」や「新たな『まちとも』」が相互に協力しあい、子どもたちが充実した放課後を過ごせるよう努められたい。
- (23) 学童保育の指定管理者への利用者人数の報告時期について、比較的規模が小さな指定管理者が人員確保が困難にならぬよう、少しでも早く報告できるよう努められたい。

#### 消防費

- (24) 消防団員数の増員に努められたい。
- (25) 消防団員確保については、条件を満たすものが入団希望した場合、地域によって受け入れ態勢に差がないように徹底されたい。

- (26) 消防団員、特に女性団員においては、子どもがいることが理由で団活動をあきらめ、退団を促されることのないように努められたい。
- (27) 災害対策用備蓄乾燥米は白飯、五目ご飯、梅粥となっている。食物アレルギーの避難者も食べられるようなものに統一するよう検討されたい。
- (28) 災害対策備蓄資機材については、防災訓練時以外にも定期的に点検されたい。
- (29) 災害対策では要配慮者支援の観点から、車椅子の備蓄についても検討されたい。
- (30) 洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ、防災マップに関して、より分かりやすいものとなるよう、町田市HPでの掲載場所なども含め見直しを進められたい。
- (31) 土砂災害警戒区域、特別警戒区域の周知に努め、理解を得、不安を取り除くよう努められたい。

### 教育費

- (32) 学校用務職員の技術が低下することのないように努められたい。
- (33) 通学費補助については、周知徹底に努められたい。
- (34) 中学校部活動と地域スポーツクラブの連携を行い、教職員の時間外勤務の削減に努められたい。
- (35) 学校サポーターについて、特別支援教育支援員制度との統合にあたり、教育センターとの連携を強化し、研修等の充実を検討されたい。
- (36) ひなた村の駐車場においては、地域の声を受け止め、利用者間で有料、無料ということが発生しないよう、十分に確保されたい。
- (37) 生涯学習センターについて、より認知度を高めるために、若年層に向けた企画及びプロモーションの強化を図られたい。
- (38) 図書館の役割は、時代とともに変化しており、コミュニティーや地域の拠点としての評価も必要と考える。貸出点数等だけでなく、来館者数も成果指標として検討されたい。
- (39) 図書館利用者へのサービス充実については、町田駅前連絡所などでも受け渡し、返却できるよう検討されたい。
- (40) 図書館、特に地域館においては、特色のある図書館運営に努められたい。
- (41) 子どもセンターを巡回するなど、移動図書館を活用し、子どもたちが本に触れる機会を増やすよう努められたい。
- (42) 国際版画美術館について、効率的な運営に取り組むとともに、施設利用者数が増加するようさらなる改善を図られたい。2020年を目指し、インバウンド対策を強化されたい。
- (43) 東京2020オリンピック・パラリンピックキャンプ地受入に向け、総合体育館等の修繕必要箇所の調査、改修に努められたい。
- (44) 地域スポーツクラブと中学校部活動連携を行い、地域の方々も長時間スポーツを楽しめるよう照明設置等、施設の充実に努められたい。
- (45) 学校施設開放事業は、利用者数が全体的に減少している。利用者数を増やす取り組みを強化されたい。

- (46) 東京2020オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ2019に向け、町田市民の気運醸成のための活動を進められたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

## 1 一般会計

(歳出)

### 民生費

- (47) 義務教育就学児医療費助成制度においては、所得制限によって利用できない世帯が、対象世帯の四分の一を超えている現状から、所得制限を撤廃し、すべての子育て世帯が受けられるよう努められたい。
- (48) 送迎保育ステーションと保育施設間の子どもの送迎時、チャイルドシートの装着確認を指さし声出しにて確認するよう、マニュアルなどの整備を検討されたい。
- (49) 学童保育クラブの指定管理者を選定する際には、学童保育クラブは働く保護者を助けるものなのだから、行事などで保護者が負担と感じないよう選定されたい。
- (50) 学童保育クラブの指定管理者を選定する際には、保護者に指定管理者の運営費を負担させるようなことのないように選定されたい。

### 教育費

- (51) 小中学校の備品、消耗品は棚卸しをするなど管理を徹底されたい。
- (52) 町田第一中学校の建て替え工事による代替グラウンドは、生徒の授業の妨げにならないよう、消防署跡地を利用するなど、近隣において確保されたい。
- (53) 小学校給食事業について、サービス水準は前年同様とのことだが、行政費用が前年から大幅に増加している。安定したマネジメントに努められたい。
- (54) 小学校給食においては、民間委託を順次進められたい。
- (55) 中学校給食の温度の改善を求める声に対し改善策の研究をされたい。
- (56) 中学校給食において、生徒たちが給食を取りやすくするために、給食の時間を延長するなど、配慮に努められたい。
- (57) 小中学校のプールに関して、管理修繕の必要が無く、設備の安全性が高く指導力もあり天候にも左右されない、民間スイミングスクールでの授業への移行をより具体的に研究、検討されたい。
- (58) 市立博物館の存続に努められたい。
- (59) 市民大学HATSにおいては、市が行っている事業であるということを十分認識して、講座などを編成することに努められたい。
- (60) 市立図書館を紹介する町田市HPにて、図書館の魅力がより伝わるよう、写真の撮影場所や時間、枚数などに関してより良くなるよう努められたい。
- (61) 図書館の利用者の増加のための、多様な施策、広報方法の向上を工夫しながら、利用

者の期待に応える蔵書のため図書購入費の拡充を図られたい。

- (62) 文学館事業について、展覧会により観覧者数に大きな差がある。コンスタントに来場者を見込めるよう企画、プロモーションを図られたい。
- (63) 国際版画美術館ミュージアムショップにおいては、国際版画美術館への来館者数増加策の観点からも、充実に努められたい。
- (64) 公園内のスポーツ施設は都市づくり部所管、それ以外は文化スポーツ振興部所管など、わかりにくい。スポーツ施設を管理する所管は、統一されるよう努められたい。
- (65) 地域スポーツクラブと民間企業との連携を行い、様々なスポーツが楽しめるよう努められたい。

平成30年（2018年）9月19日

文教社会常任委員長 木目田 英 男

議長 若 林 章 喜 様

## 建設常任委員会議案審査報告書

1. 第 83 号議案 町田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 84 号議案 町田市立公園条例の一部を改正する条例
1. 第 86 号議案 町田市熱回収施設等（仮称）整備運営事業に関する施設整備工事請負契約の変更契約
1. 第 87 号議案 町田薬師池公園四季彩の杜ウェルカムゲート整備工事請負契約
1. 第 88 号議案 芹ヶ谷公園整備工事（その1）請負契約
1. 第 93 号議案 市道路線の認定について
1. 第 94 号議案 市道路線の廃止について
1. 第 115 号議案 小野路公園外 2 箇所の指定管理者の指定について
1. 第 116 号議案 町田中央公園外 3 箇所の指定管理者の指定について
1. 第 117 号議案 野津田公園の指定管理者の指定について
1. 第 75 号議案 平成 30 年度（2018 年度）町田市一般会計補正予算（第 2 号）
1. 第 77 号議案 平成 30 年度（2018 年度）町田市下水道事業会計補正予算（第 2 号）

本委員会は、9月6日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 平成 29 年度（2017 年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月6日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

#### 1 一般会計

（歳入）

- （1）物品売払収入・余剰電力売払収入については、より分析し、PRし、ゴミ処理だけでなく、資源・エネルギー再生工場としての役割をより向上されたい。

(歳出)

#### 衛生費

- (2) 緑のカーテンゴーヤ配布数の漸減傾向に歯止めをかけ、増加に向けて努められたい。
- (3) 受動喫煙対策強化の観点から、指定喫煙所において、パーテーションがないなど全く受動喫煙に対応していない所について早急かつ抜本的な改善をされたい。
- (4) あき地等の環境保全、環境美化推進業務等については、業務委託等の見直しにより、より効果的な事業となるよう検討されたい。
- (5) 熱回収施設等整備工事では、環境負荷に配慮した資源循環型のまちづくりの実現に向けた安心・安全な施設整備を今後も進められたい。
- (6) 2022年1月の新工場稼働に向けて、引き続き、ゴミの適正処理・資源化を進められたい。
- (7) ごみの適正分別への手助けとなる「ごみ分別アプリ」の導入により、適正分別のさらなる促進に力を入れられたい。
- (8) 地域資源回収について、より促進・啓発を行い、行政回収労力の軽減に努められたい。
- (9) ふれあい収集を利用される市民のうち、家族等の手助けがなく、自身でのごみ出しが困難な市民のニーズを捉え、今後も、ふれあい収集の在り方について検討されたい。
- (10) し尿の収集及び運搬業務のあり方を検討し、衛生的な住環境の確保に努力されたい。

#### 土木費

- (11) 道路部においては、職員が部の使命の達成に貢献し、業務の効果を適切に評価されていると感じられるよう、部の取組を見直されたい。
- (12) 道路反射鏡等の交通安全施設の整備について、通学路のカーブミラー設置は行わないとの方針である。通学児童安全確保の観点から、カーブミラーの設置について、さらなる調査・検討をされたい。
- (13) 通学路等道路安全対策については、より予算を確保し、現場で必要と判断されたものについては、より整備に努められたい。
- (14) 「道路通報アプリ・みちピカ町田くん」を使用してメール送信した後、送信者に担当課より返信するよう機能の向上を目指されたい。
- (15) 「道路通報アプリ・みちピカ町田くん」をより市民に活用いただく為、認知度向上を、さらに図るための周知をされたい。
- (16) 駅周辺の利便性の高い施設に自転車等駐車場の需要が集中しているため、引き続き施設の機能改善に取り組み、市営自転車駐車場10施設についても、施設の修繕・管理を進められたい。
- (17) 自転車定期利用待機者をなくすため、自転車駐車場を適切な場所に増設されるよう鉄道事業者の協力も求めるよう努力されたい。
- (18) 道路施設の老朽化が年々進行するとともに、今後も維持管理コストの増大が想定されることから、引き続き支出の平準化に鋭意努められたい。
- (19) 市民にとって必要な情報を掲載した、GIS（地図情報まちだ）の、さらなる利用者数の増加を図られたい。

- (20) 住みたい・住み続けたい「まち」を目指すため、住まい周辺の景観に対する好感度を上げ、さらなるまちづくりに努力をされたい。
- (21) 交通事業推進に於ける、公共施設巡回ルート・相原ルートの利用者のニーズを把握し、運行経路や時刻等の見直しをされ、時刻表の配布にも力を入れられたい。
- (22) 地域コミュニティバス運行事業について、交通不便地域解消の為、乗り合いタクシーやワゴン車等路線を増やす努力をされたい。
- (23) 地域コミュニティバスかわせみ号については、利用者数を引き上げるためにシルバーバス助成制度の拡充を都に要望されたい。
- (24) コミュニティバス新路線計画については、住民協議会へのその時々の情報提供と意志疎通を図られ、スムーズな運行に努められたい。
- (25) 路線バスの運行については、道路整備が進んだ地域から路線の見直しを行われたい。
- (26) 公園・緑地における樹木の管理については、自然災害による住民被害が発生しないよう、適正な対応に努められたい。
- (27) 公園駐車場有料化事業について、より公園利用者の立場に合った事業形態に努められたい。
- (28) 市民に貸し出している運動公園施設については、指定管理者と連携し、より利用率の向上に努められたい。
- (29) 芹ヶ谷公園の再整備設計について、より防災対策の拠点としての位置付けを確立されたい。
- (30) 町田市立陸上競技場の観客席増設については、市民生活の状況を鑑み、財政圧迫にならない様、国や東京都からの補助金や資金調達施策を検討し対応されたい。
- (31) 市営住宅におけるエレベーター設置について、積極的に検討されたい。
- (32) 居住支援協議会の設立を進めるとともに、住宅に関する課題について、積極的に把握されたい。
- (33) 空家対策について、管理不全空家への対策を強化し、周辺住民の生活に悪影響を及ぼさない様努められたい。
- (34) 空家の利活用について、より地域住民の生活向上の為、また市民団体の活動支援の為、努められたい。
- (35) 分譲マンション耐震化助成金による、耐震設計に該当するマンションが多数存在する現状を鑑み、同事業を一層促進されたい。

## 2 特別会計

### 下水道事業会計

- (36) 開発行為、住宅建設にあたっては、浸透施設整備や雨水活用施設整備をさらに誘導するよう努められたい。
- (37) 水洗化率はすでに達成目標に到達しているが、その目標値にかかわらず、引き続き数値の向上を目指されたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

## 1 一般会計

(歳出)

衛生費

(38) 不燃ゴミに含まれる可燃ゴミの割合を減らすべく指定収集袋料金に差をつけることを検討されたい。

土木費

(39) 南町田拠点創出まちづくりについては、検討会だけでなく、地域住民への丁寧な情報提供を行うとともに合意を図るためのさらなる努力をされたい。

(40) 中心市街地整備にあたっては、多額の費用投入が必要となるため、十分な情報共有と市民合意を図りながら進められたい。

(41) 町田市立陸上競技場の大型映像装置は装置設置側の席からは映像が見えないため、反対側に小型の映像装置の設置を民間活用の手法を取り入れつつ検討されたい。

平成30年（2018年）9月19日

建設常任委員長 おぜき 重太郎

議長 若林章喜様